

「こころ旅」にて

今日は七夕ですね。退職してしまったら、暦を調べて子どもに説明をする機会もなくなったので、なんとなく季節にも疎くなってしまっている錯覚を覚えます。それはともかくとして、またそろそろコラムを書きたくなってきておりますので、突然始めることにしました。

毎日、NHKのBSでやっている「こころ旅」という番組を楽しみにしております。火野正平さんが視聴者の思い出の場所を自転車で訪ねるという内容のものですが、旅先で出会ういろいろな人たちとのかかわりとか、心象風景にも通じる景色が、とても心地よいので、毎日録画してみるようにしています。

奇しくも、今週は秋田県を通過中です。それも最終日の今日は、私の心の風景でもある八峰町の岩館海岸が出てきました。ちょうど来週、連休に帰省し、天気がよければ自転車で走りたいと思っていた場所でした。

実はこの番組に、自分も手紙を出したことがあります。それは岩館から隣駅の八森の間にある、当時東北一高かった鉄橋のことなのです。5歳頃にたまたまその鉄橋を渡るという暴挙に出て、そして偶然にも途中で電車とすれ違うというとんでもない経験をしているのです。それは全く子どものいたずらからしたことでしたが、電車の運転手のあまりにも驚いた顔を、なんとなく今でも思い出すことができるような、とにかく自分の人生の中でも、一步間違えれば死んでいたという経験だったので。運よく保線用の通路を歩いていたので、電車に接触することはありませんでした。



その鉄橋の写真が番組の中で出たので、ご紹介いたします。もちろん、今日の番組は私の手紙をもとにした訳ではなく、別の方の思い出を辿ったものでしたが、鉄橋の映像が出たので、すぐに分かりました。こんな高いところを歩いたのですね。5歳頃だったから怖いもの知らずというか、今だったらぜったい無理ですね。写真を見ているだけで、背中あたりがむずむずしてきます。

<http://www.nhk.or.jp/kokorotabi-blog/100/274941.html>

より掲載

今日の番組では、岩館海岸の遊泳場所が思い出の場所として紹介されていました。もともと岩場の海岸なのですが、そこをコンクリートで仕切ってプールのようになっている場所です。当時は泳いだ記憶がないのですが、うちの子どもの小さい頃には、

ここへ連れて行って泳がせたこともありました。私にとっても思い出の場所です。岩場に目を向けると、ヤドカリなどがけっこう生息しているのが分かりました。

ほとんど、昔の風景とは変わっておりますが、白神山地や海の様子は、当時のままです。20年くらい前までは、当時住んでいた国鉄の官舎がそのまま残っていましたが、さすがにそれは今はない

でしょうね。親父は当時岩館駅の助役でしたので、私にも駅は遊び場所のようになっておりました。官舎が並んでいる一角には銭湯のようなところがあり、官舎の住人がお風呂をつかう場所でした。脱衣所で遊んだ記憶があります。（不思議とお風呂に入った記憶がありません）駅の構内ですから、当然線路を切り替えるポイントがあります。今は違いますが、当時は手動でポイント切り替えをしていたのですが、その切り替え機は、重くて子どもの力では持ち上がりません。（やってみたような口ぶりですが…）いたずら防止でしょうね。こんな感じで、駅の構内の風景が今でも目に浮かぶのです。不思議ですよ。

あるとき、駅で父親たちが宿直しながら麻雀をしていた時、駅の扉をゆさゆさ揺すっている熊に遭遇したような。町中が大騒ぎになり、とても怖かった記憶があります。白神山地がすぐ駅の側まで迫っているような場所でしたので、当然野生動物などもたくさん出ていたのでしょうね。

50年以上前の岩館は、ハタハタ景気でとっても活気がある町でした。近くに大きな町もないので、週に1回、購買列車という名前だったと思いますが、客車一両にたくさん商品を入れて買い物ができるようにした電車を走らせていたのです。駅に停車している間に、近所の奥さんたちは買い物をそこでするわけです。まったく今では信じられないような話ですね。そしてよき時代だったなあと思ってしまうわけです。